



© karoku.k

江戸時代初期、飲料水確保のために開削された玉川上水は、365年を経て今なお、東京の水と緑を守る大切な役割を果たしています。シンポジウムはこの玉川上水を未来の子ども達に手渡すために開きます。

シンポジウム 4月22日 (日) 14時〜16時30分
(開場13時30分)

玉川上水と

生物多様性

— 玉川上水の宝物を未来につなぐ —

講師

小泉武栄さん

東京学芸大学名誉教授 自然地理学、地生態学

新里達也さん

(株)環境指標生物代表、第二次明治神宮境内総合調査事務局

坂田昌子さん

国連生物多様性の10年市民ネットワーク代表、NGO度十の会代表

萌え木ホール (商工会館3F)

資料代: 300円

主催: 小金井玉川上水の自然を守る会

後援: 小金井市 / 玉川上水ネット

